

教室責任者様 運営ご担当者様

Programming Festival 第4回大会（2020年） 開催のお知らせ

Programming Festival 実行委員会

大阪市北区西天満3-4-21-506
株式会社キャスト・ワークス内

大会実行委員長：中山 涼一
広報担当：進藤 整是

<https://programmingfestival.jp>
info@programmingfestival.jp

コロナウイルス感染再拡大防止のため、各教室様におかれましては新たなレッスン方法についての模索など、ご多忙な日々をお過ごしのことと存じます。

そんな折に、突然の連絡にて失礼をいたします。

私たちは、「Programming Festival」という大会を、毎年開催しております。

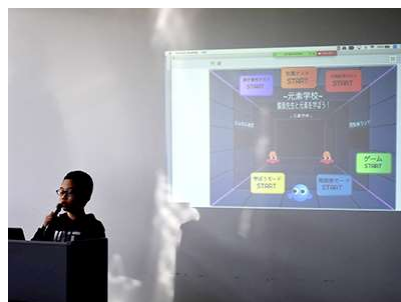
この度、今年度の大会についての実施要項が決定いたしましたので案内を送付させていただきます。

ご覧いただき、もしご興味をおもちいただけましたら、お気軽にご参加くださいませ。またご質問などありましたらお気軽にお問い合わせくださいませ。

どうぞよろしくお願いいたします。

■ Programming Festival 第3回大会（2019年）授賞式の様子

入賞された方10名を、大阪市にて開催された授賞式にご招待させていただきました。



<Programming Festival とは>

Programming Festival はプログラミング技術を競うことを目的にしていません。
プログラミングを通して、教育現場の課題を子どもたちと先生とで一緒に解決していくための大会です。

大会では、提示されたテーマに沿って、まずは子どもたちに実際の授業で使えるような「教材」を作成していただきます。Scratch を用い、学校で習った・習う知識のゲームやアニメーションをつくっていただきます。これにより子どもたちの主体的でかつ深い学びを実現いたします。

応募されたすべての作品について丁寧に審査を行い、そのうち 10 作品を入賞作品として表彰いたします。
大会後には、入賞作品を含めた応募全作品を大会サイトにて公開いたします。全国の先生が教材を自由に使えることを前提とし、学ぶ側（生徒）の視点と発想から先生の授業作りの改善を図ります。

子どもたちと先生が教え合う、学び合う、そんな新しい空間を創ることがわれわれの願いです。

☆大会ホームページ <https://programmingfestival.jp/>

◆応募できる方

作品を応募できるのは、小学校・中学校・高等学校に在籍する方です。

- ・教室でプログラミングを学んでいる方
 - ・教室に通わず独自でプログラミングを学んでいる方
- すべての方が応募できます。

◆参加費用

教室登録費 : 無料 ※別途有料にて協賛教室制度を設けております（下記参照）
応募費 : 無料

◆第4回大会（2020年）のスケジュール

1) 作品制作

★作り方

- ① Scratch3.0 により作品を制作してください。
※ 作品ファイルは 5MB 以下で作成してください。
- ② 制作した作品を動画に撮影してください。
※ 作品ファイルは 5MB 以下、動画は 1 分以上 2 分以内の MP4 または MOV 形式で作成してください。
※ 作品を実演し、制作内容を選んだ理由、作品の特徴などをアピールしてください。

<注意>

昨年までの大会では①のみをご提出していただいております。
今年度大会から新たに②の提出が加わりました。

提出方法の詳細については、大会ホームページ内の応募フォームにてご確認ください。
<https://programmingfestival.jp/submission/>

★今年度の課題

以下の二つの部門から課題を選択してください。
両部門に同時に応募していただくことも可能です。

<教科部門>

今年度は「英語」に取り組んでいただきます。楽しく勉強できる未発表のオリジナルのアニメーション、ゲームを創って下さい。教科書にある内容なら、現在の学年以外の内容を作ってもかまいません。

☆評価基準：アイデア・面白さ・シンプルさ・使いやすさ

<社会課題解決部門（SDGs）>

SDGsに掲げる17の目標のうちの1つ（もしくは複数）を選び、具体的な課題とその解決策となるプログラムを創作してください。

（例）目標12：つくる責任つかう責任 → 課題：食品ロス問題

目標14：海の豊かさを守ろう → 課題：マイクロプラスチック問題 など

☆評価基準：課題解決のアイデア、作品の完成度

2) 作品受付 2020年7月1日 から 10月15日 まで

大会ホームページ内に応募フォームがございます。

3) 実行委員による作品チェックと審査 2020年10月16日 から 11月10日 まで

一次審査：全応募作品を実行委員にて審査し、20作品を優秀作品としてノミネートします。

最終審査：小中学校の先生を中心に編成された審査委員会により、入賞作品を決定します。

4) 入賞の通知 2020年11月15日頃

入賞者の皆さまには、実行委員会より「授賞式」のご案内を発送させていただきます。

5) 授賞式 2020年12月20日 ※時間未定

会場 : 大阪市内 ※詳細未定

交通費補助 : 保護者1名・受賞者本人について、ご来場の交通費を補助しています（上限あり）。

入賞者 :

教科（英語）部門	大賞3名（フェスト大賞1名、デザイン賞1名、アイデア賞1名）、ほか入賞複数名
社会課題解決（SDGs）部門	大賞1名（SDGs特別賞1名）、ほか入賞複数名

副賞 :

教科（英語）部門	今後の学習に結びつく学習キット等を授与とさせていただきます。
社会課題解決（SDGs）部門	

<主催者について>

主催者 : Programming Festival 実行委員会

運営 : Programming Festival 2020 大会運営委員会 (※敬称略・順不同)

会長 中山 涼一 (一般社団法人センセイワーク 代表理事)
副会長 塩沢 茂樹 (日本次世代教育総合研究所 代表)
副会長 進藤 整是 (株式会社キャスト・ワークス 代表取締役)
委員 堀 洋一 (株式会社ジェイシー教育研究所 企画営業部長 サス学認定講師)
委員 西尾 茂和 (一般社団法人日本こどもプログラミング協会 理事)
委員 平野 貴美枝 (NPO 法人ハテナソン共創ラボ 理事)
委員 住ノ江 修 (一般社団法人センセイワーク 理事)
委員 沼田 和也 (同志社中学校 教頭)
委員 二田 貴広 (奈良女子大学附属中等教育学校 教諭)
委員 藤原 晴佳 (つくば市立春日学園義務教育学校 教諭)
委員 吉永 順一 (株式会社キャスト・ワークス 取締役)

後援 : 大阪府教育委員会 (後援申請中)

事務局 : 〒530-0047

大阪市北区西天満3丁目4-21-506号 株式会社キャスト・ワークス内
mailto: info@programmingfestival.jp

<2019年 第3回大会開催実績>

◆応募総数 110点

◆入賞作品 10点

●大賞

SCIENCE SHOOTING (井出朋希・静岡県)

太陽系の惑星の動きの違い (松澤春希・兵庫県)

食物連鎖シミュレーター (久野佑真・愛知県)

●入賞

実験!! ~水溶液の性質~ (間瀬彩心・愛知県)

仲間分けマスターを目指そう!! (間瀬葵・愛知県)

くもって何? ~雲のでき方と種類~ (高田夢々・宮城県)

りからだ (中本慧思・岡山県)

理科 燃烧実験 (江田雅紀・愛知県)

電子回路問題集 (和田蒼生・大阪府)

元素学校 ~酸素先生と元素を学ぼう~~ (田中太朗・静岡県)

☆作品ダウンロード

<https://scratch.mit.edu/studios/24938453/> (2019年大会)

<https://scratch.mit.edu/studios/5552050/> (2018年大会)

<https://scratch.mit.edu/studios/4482769/> (2017年大会)

◆参加教室

8×9 キッズプログラミングスクール (兵庫県神戸市)
HighTech 新潟小中学生向けプログラミングスクール (新潟県新潟市)
Kid's Programming (静岡県富士市)
うつぼキッズ (大阪府大阪市)
オンラインプログラミング教室「おうちでコード」
エジソンアカデミー本校 (大阪府八尾市)
こどもパソコン塾 すまいる・キッズ (大阪府藤井寺市)
三田こどもパソコンじゅく (兵庫県三田市)
ステモン豊中校 (大阪府豊中市)
大東尚学館 (大阪府大東市)
豊中こどもプログラミング教室 (大阪府豊中市)
プログラミング教室 Willow (栃木県那須烏山市)
プログラミングスクール Sachool (宮城県仙台市)
マインクラフトはじめてのプログラミング学校 (岡山県岡山市)
まなゲーらぼ (大阪府大阪市)
未来学校プログラミング教室 (大阪府大阪市)
ユアスタイル (愛知県日進市)

以上